

生物室に迷い込んだ 昆虫たち(7月)



アオスジアゲハ

2014年7月3日(木) 12:40

中3年2組の生徒達が生物室の中に入ってきたアオスジアゲハを発見。文字通り、青い縦のライン(スジ)が美しいアゲハである。幼虫はクスノキの葉が食草なので、佐高のクスノキで育った個体かもしれない。生徒が外に逃がしてくれた。



ツマグロヒョウモン

2014年7月15日(火) 12:20

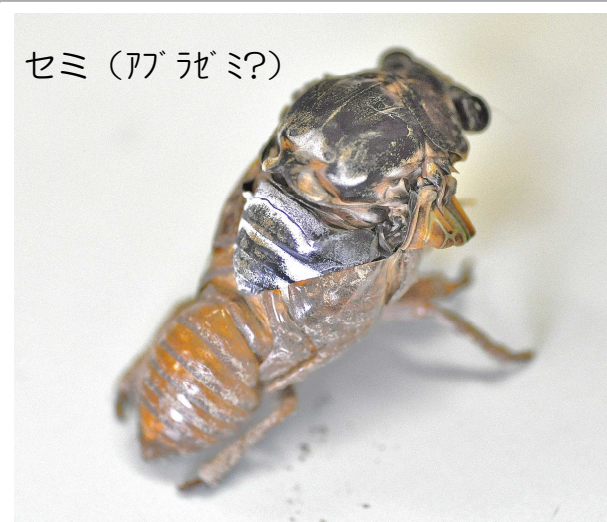
生物準備室に迷い込んできた鮮やかな蝶。「棲黒豹紋」と書く。棲(=着物の裾(すそ)の左右両端の部分)が黒く、ヒョウ柄の蝶という意味だろう。かつては関東にはいなかったが、近年、分布を広げているらしい。



タマムシ

2014年7月29日(火) 17:00

生物室前の廊下に落ちていた。毎年、この頃になると見かける「真夏の昆虫」である。羽に金属光沢があり、ぴかぴかと輝いている。法隆寺の国宝である「玉虫厨子」の装飾に使われているのが有名。城山公園などに多く生息しているらしく、そこから飛んできたのかもしれない。



セミ(アブラゼミ?)

2014年7月31日(木) 11:30

天神様の近くに住む方から電話があった。セミの羽化が3日前から始まったが、途中で動かなくなってしまったというのだ。見に行くと、残念ながら、羽化に失敗した模様である。体が抜けなくなってしまったか、途中で力尽きたのであろう。実際に見たのは初めて。佐高の生徒さんに見せてくださいとのこと。